

松山議員

エコミュージアムについて

問①子ども達が提案する、元気なまちを目指して行動する取り組みに対して、エコミュージアム「わがまちげんき魅力醸成事業」の新規チャレンジ事業で支援していくことはできないか伺う。

②新規チャレンジ事業の申請団体には、エコミュージアム協議会と各部会への参加を必修とすべきでないか。また申請団体間の情報交換と連絡調整を図る部会等の設置が必要でないか。

答①新規チャレンジ事業は、幅広い市民活動グループを対象としているため、子ども達からの提案も申請は可能。事業を委託しているエコミュージアム協議会と協議し、学校や地域への周知を図っていく。

②団体相互の情報交換と連絡調整を行うことはエコミュージアムによる「ふるさとルネッサンス」の実現を図る上で大切な課題と考える。今後、新規チャレンジ事業に関する要綱の一部見直しも含めて、委託先のエコミュージアム協議会と検討していく。

その他の質問
・ESD「持続発展教育」について

ユネスコ・エコパークについて

問ユネスコ・エコパークの移行地域を市内全地域に設定する事により、環境教育・ジオパークや恐竜を生かしたまちづくり・まちなか誘客など、勝山市を誇るべき世界的なブランドとしてアピールできる。勝山市内の移行地域の認定を日本MAB計画委員会に働きかけをすべきではないか。

答ユネスコ・エコパークに指定されている白山地域には、認定の条件である移行地域の指定がないため、2014年までに核心地域と緩衝地域の他に移行地域のエリアを指定することが求められている。今後、ワーキンググループを開催し検討に入るが、当市としても勝山市域が移行地域の指定を受けられるよう関係機関と連携を図り取り組んでいく。



加藤議員

あわてて統廃合すべきでない

問中学校の統廃合については、1校か2校かで議論されているが、勝山北部中学校はいずれの場合も勝山中部中学校に統廃合されることになる。

①勝山北部中学校は、環境教育でも、新聞を使った教育でも、よく頑張っている。さらに勝山市の街づくりの提案までしている。こうした勝山北部中学校の教育活動を教育委員会は、どう評価するか。

②このように頑張っている勝山北部中学校を、応援するのが教育委員会の仕事でないか。勝山北部中学校をなくすべきでないと思うがどうか。

③中部縦貫自動車道の開通により、福井方面への通勤時間は大幅に短縮され、さらに「赤岩」から荒土町新保に新しい橋ができれば、人の流れは大きく変わる。そうなると思うが、鹿谷町だけでなく、北郷町や荒土町に子どもを持つ若者世帯を中心に住宅建設と定住化が一気に進み、勝山北部中学校の生徒も増えることが予想される。5年先、10年先を見定めれば、あわてて統廃合はすべきでないと思うが、どうか。

その他の質問
・福祉政策の充実について
・小水力発電による地域活性化について

答勝山北部中学校は非常に頑張っている。現在の活動にも精一杯の支援をしたいと思うし、エールも送っているところである。

しかし、生徒数の減少に伴い色々な課題が生じてきており、今後、危機的な状況に立ち至る前に再編を進めながら、課題を解消しよりよい環境を作っていくべき、という考え方でいる。また、小さい学校でもメリットはあるが、一定のスケールメリットは沢山あることから、学校再編によるメリット・デメリットを比較しながら、再編するべきとの考え方に至ってきた。教育環境を更に高め、生徒たちが、もっと生き生きと活動できる場を整えていきたいと言う考え方であるので、市議会等の意見を聞きながら進めていきたい。



北部中学校